

お金の準備シート 自分のタイプと、最初の一步

コラム「50 代のお金の準備 | 最初の一步は、タイプで決まる」とあわせてお使いください。これは、今後の第一歩のたたき台です。

まず、近いものを一つ選ぶ

- ☐ 「したいことが、できるか」を判断したい
- ☐ 「どう働くか」を探している
- ☐ 「何から手をつければいいのか」が分からない

次に、選んだタイプの枠だけ書く

「したいことが、できるか」を選んだ方

書くこと	記入欄
したいこと	
いくら必要か	万円
いつ必要か	年 月ごろ
そのあいだの収入の見通し（月）	万円

例：学び直したい／200 万円／60 歳のとき

「どう働くか」を選んだ方

書くこと	記入欄
毎月の支出	万円
年金の見込み（月）※	万円
退職金の見込額	万円
退職金を使い始める時期	歳ごろ

例：支出は月 26 万円／年金は月 12 万円／退職金は 1, 500 万円

※年金額は、ねんきんネットや公的年金シミュレーターで調べることができます。

「何から手をつければいいのか」を選んだ方

書くこと	記入欄
毎月の収入	万円
毎月の支出	万円
毎月の過不足（収入-支出）	万円
年金の見込み（月）※	万円
これまでの経験で、できること	

そのあと、働き方の仮案を並べる

2～3 案を並べてください。各欄には、働き方と、月の手取りを書きます。

案	60 歳まで	60 歳～65 歳	65 歳以降
例	今の会社で働く 月 28 万円	再雇用で短時間 月 18 万円	仕事を減らす 月 10 万円
案 A			
案 B			
案 C			

最後に、気づいたことと、今日の一行

書いてみて、気づいたこと：

最初の一步として、今日やること（一つだけ）：

書けないところは、日を改めて考えてみましょう。

さらに具体的に考えたい方へ

このシートは、入口です。家族の状況や資産まで含めて総合的に考えると、見えてくるものが増え、安心感も高まります。

具体的に試算してみたい方は、リスタートプログラムへ。3 回の面談で、お金のシミュレーションや働き方など、より具体的なこれからの見通しを一緒に作ります。

まずは進め方を相談したい方は、スポット相談（60 分）で、より詳しい方法をご相談ください。

FP オフィス ミラボ 京極佐和野 保険・金融商品の販売・仲介は一切行っていません。